

令和元年度 2 学年 国語科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○「朝のスピーチ・かんさつ名人クイズ・ともさんはどこかな。」など友達の話をよく聞き、質問したり答えたりすることができる。 △話は聞いているが一問一答のようになり、必要な情報を質問したり新たな考えを生み出したりするまでには至らない。 ○簡単な構成を理解して出来事や観察したことをもとにして簡単な文章を書くことができる。 △自分の気持ちを入れて書いたり、文章に肉付けしたりすることに苦手意識をもつ児童がいる。 ○ペープサートを使って登場人物の気持ちを読み取ったり、叙述をもとに気持ちを想像したりすることができる。 △読み取りがすぐにできる子もいれば、他の子の意見を聞いてできる子がいるなど個人差が大きく、自信をもって発表できる児童も限られている。 ○新出漢字に興味をもち、積極的に漢字を読んだり書いたりすることができる。 △習得には課題がある。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを入れたり、必要な事柄を集め順序良く書いたり簡単な構成を理解して書くこと。 (書く力) ・書いた文章を見直す習慣をつけ、習った漢字を正しく書くこと。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書いたものを見直したり交流する時間を設定したりすることで、よりよい文章に直したり友達の意見を取り入れたりする。 ・見直しのポイントを明確にし、構成や誤字脱字など減らす。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： どうぶつ園のじゅうい 指導時間： 12 時間 指導時期： 9 月頃</p>
	<p>単元における 具体的手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ・中・おわり」の既習事項を生かして、ワークシートを使用し、簡単な構成を考えられるようにする。 ・読んで考えたことや気付いたことを書く活動となるため、教材との出会いを大切にしたり、実際に獣医さんから話を聞く機会を設けたりして感想や考えをもてるようにする。 ・「時、どうぶつ、しごと」と分けて一覧表にするワークシートを作成し、内容が一目で捉えられるようにする。 ・見直しポイントを用意し、自分で見直しができるようにする。 ・友達との交流を通して間違いやよりよい表現に気付いたりできるようにする。

令和元年度 2 学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○新鮮なことに對して興味をもって学習しようとする。 ○たし算やひき算の筆算の問題を解決することに意欲的な児童が多い。 △考えたことを説明したり、式や図で表現したりすることに差が見られる。 △数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについての理解が不十分である。 △繰り上がりのあるたし算と繰り下がりのあるひき算の定着が不十分である。 △長さの単位やかさの単位や時間の単位についての理解が不十分である。 △問題を読んで意味を理解し立式することが難しい様子が見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・場面を図に表して構造をとらえ、式について考え表現する。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・式の意味の理解を確実にさせるため、具体物を用いて式の意味を説明させる。その際にはペアやグループで行わせる。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：図をつかって考えよう 指導時間：7 時間 指導時期：2 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・問題文を読ませて、分かっていることに下線、問われていることに波線を引かせ、必要な情報を整理させる。 ・問われていることはどのような意味なのかを具体物を使って説明させる。 ・問題を簡単な数に置き換えたり、おはじきなどを操作させたりしながら場面を想起させる。 ・式の意味理解を確実にするため、「式の意味を説明しましょう。」と発問し、「$35+25$ は、赤い色紙が 35 枚と青い色紙 25 枚を合わせるということです。」というように説明させる。また「$60-25$ は、全部の 60 枚から青い色紙 25 枚を引くと、赤い色紙の枚数が分かるということです。」や「$60-35$ は、全部の 60 枚から赤い色紙 25 枚を引くと、青い色紙の枚数が分かるということです。」というように説明させる。式と具体的場面を結び付けさせる。その際、ペア活動を行うなどする。</p>

令和元年度 2学年 生活科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○意欲的に活動や体験に取り組むことができる。 ○身近な自然を観察する活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができる。 ○生き物を観察する活動を通して、生き物の特徴や違いに気付くことができる。 ○植物を育てる活動を通して、育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。 △季節によって生活の様子が変わること気付くことが難しい。 △気付いたことを絵や言葉で表現することに差がある。 △自分自身や自分の生活に関連付けて考えることが難しい。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動や体験を通して得た気づきを、自分自身との関わりで捉えること。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用した振り返りの場を充実させる。 ・友達、教師、保護者からのコメントを記入し、客観的に自分自身のことを見つめることができるようにする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：明日へダッシュ 指導時間：20時間 指導時期：2～3月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が体験したことを振り返る時間を十分にとる。 ・自分自身のことを客観的に見つめさせるために、交流の時間を設け、お互いを認め合ったり、自己評価カードに友達のコメントを入れ合ったりする場を設ける。 ・活動前には、よさを認めた教師のコメントを記入したワークシート等を返し、前時の自分自身を客観的に見つめることができるようにする。

令和元年度 2 学年 体育科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○楽しく運動に取り組むことができる児童が多い。 ○運動の仕方や遊び方を工夫して、よりよい動きにしようとしている。 ○友達の動きを見て、まねしてみようとする児童が多い。 △運動を通して、めあてとする動きについて分かったことや気付いたことを他者に伝えることには差がある。 △自身の体調や自他の安全に留意して運動に取り組むことが難しい。 △運動を通して、自己の課題の解決に向けて考え、課題となる苦手な運動に積極的に活動することができない。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・考えたことを他者に伝える。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授 業 改 善 策 】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<p>・教師の動きや友達の動きを見て、気付いたことを教え合う場を設定する。 ・運動を工夫したり、とんだ地のよい動きを見つけられるように、様々な動きを提示したり、動きのよい児童を紹介したりし、意識して取り組めるようにする。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：鉄棒遊び(器械・器具をつかっの運動遊び) 指導時間：5 時間 指導時期：1 0 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・動画や教師の手本や友達の手本をからめあてとなる基本的な動きのイメージをつかませ、コツやポイントを明確にする。 ・ipad で教師がよい動きをしている児童を録画し、動きのポイントを学級全体で共有できるようにする。 ・友達の動きを見て、どうしたらよい動きになるのかを考えて、伝え合う時間を十分に確保する。 ・ペアで学習に取り組ませ、常に互いにより動きが伝え合えるようにする。</p>

令和元年度 2 学年 図画工作科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○図工の時間を楽しみにしていて、意欲的に取り組む児童が多い。 ○友達の作品からよさを見つけたりよいところを真似したりすることができる児童が多い。 ○一つ作り終わるとさらに作品を作ろうと意欲的に取り組むことができる。 △絵を最後まで丁寧に塗ったり、細かい作業を丁寧に組み組んだりすることに課題がある。 △表現したいことを見つけたり考えたりすることが苦手な児童がいる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・お面のかたちのおもしろさや花紙の色の美しさなどを楽しみながら形や色をとらえ、自分の作りたいかぶりもののイメージをもつ。 ・土台の型の作り方や張り子にする花紙のはり方などを確かめながら最後まで仕上げる。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・見本や実演を通して、児童の意欲を引き出す。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： かぶってへんしん 指導時間： 5 時間 指導時期： 1 1 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・導入で「作ってみたい。おもしろそう。」という意欲をもてるような見本を見せる。 ・花紙の貼り方を実演することで「自分でやってみよう。」という意欲をもたせる。 ・作りたい物が思い浮かぶように見本をいくつか用意したり、学芸会の登場人物の紹介をしたりする。 ・友達の工夫を見つけやすくするため、作業場を工夫する。 ・一人一人が表現したいものをすぐに表現できるように、花紙の色を複数用意したり土台となるカップや型となる材料を予め用意したりしておく。</p>

令和元年度 2 学年 音楽科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を楽しみながら歌ったり、リズムを身体で感じたりすることができる。 ・器楽合奏に興味をもっている。 ・思いをもって音楽活動に取り組む児童が多い。 ・鍵盤ハーモニカは、5本の指を使って演奏できるようになってきているが、演奏技能に個人差がある。 	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ・楽器の響き合いや旋律の特徴に気づき、いろいろな音が合わさる楽しさを感じ取りながら聴く。 ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむ。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に合った魅力ある曲を選曲する。 ・思いや感じたことを音や言葉で表現できる場面を設定する。 ・小さな成長を励まし、評価し、自身で課題を見つけ意欲につなげる。 ・鍵盤ハーモニカの運指などについて、わかりやすい指導に努めるとともに、個別指導を行う。 ・いろいろな楽器に触れることができるよう、魅力ある教材を用意する。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 音を合わせて楽しもう 指導時間： 13 時間 指導時期： 1～3 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に合った魅力ある曲を選曲していく。 ・思いや感じたことを音や言葉で表現できる場面をつくっていく。 ・小さな成長を励ましていくなど、声かけを大切にしていく。 ・鍵盤ハーモニカでは、指の運びなどわかりやすい指導を努めるとともに、個別指導を行う。 ・いろいろな楽器に触れることができるよう、魅力ある教材を用意する。